

平成30年度富里市地域公共交通会議会議録

日 時	平成31年2月4日（月） 午後2時00分～午後3時05分	場 所	富里市役所本庁舎 3階第3会議室
出席委員	石橋規委員，門澤將幸委員，飯塚孝廣委員（石崎亨弥運輸企画専門官 代理出席），寺井繁樹委員，岡野肇委員，鶴澤尚夫委員（河合孝彦自動車部長 代理出席），篠崎秀樹委員，伊藤賢委員，長谷川英利委員，鈴木基之委員，相馬きよ子委員，中野善敦委員		
欠席委員	福元大輔委員		
事務局	総務部企画課：相川課長，細野副主幹，椎名主事 健康福祉部高齢者福祉課：池内副主幹		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 富里市長よりあいさつがなされた。</p> <p>3. 委嘱状交付 富里市長より各委員に委嘱状の交付がなされた。</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 富里市地域公共交通会議設置条例第5条による互選により選出。 委員より事務局に一任する旨発言あり。 他の委員から異議なしの声あり。 これまでの経緯を踏まえ，会長に石橋委員，副会長に長谷川委員を選出するとしてよいか委員に提案。 委員各位より異議なしの声あり。 会長に石橋委員，副会長に長谷川委員を選出することに決する。</p> <p>5. 議題（議事進行は条例第6条により会長が行う）</p> <p>（1）「富里市地域公共交通会議設置条例について」 資料1に基づき事務局より説明 【意見等なし】</p> <p>（2）「さとバス」及び「デマンド交通の利用状況等」及び「自家用有償旅客運送」について 資料2に基づき企画課より説明 資料3に基づき高齢者福祉課より説明</p>		

【委員】

さとバスのアンケート調査について、市ホームページで公開する予定はないか。

【事務局】

市ホームページで公開する予定はないが、検証や分析が済み次第、地域公共交通会議の中で、報告させていただきたいと考えている。

【委員】

資料3の(3)富里市を運行区域とする福祉有償運送の実施事業者についての中で、福祉有償運送運営協議会において協議がなされているとあるが、具体的にどのような協議をしているのか。

【事務局】

協議については、3年に1回更新をするための協議となっている。

【委員】

資料3の(2)富里市移送サービス事業についてであるが、移動困難者の内、要支援者及び要介護者の各区分について49人とあるが具体的に把握しているか。

【事務局】

手持ち資料がないので、この会議中にお示しできればと考える。
少しお時間をいただきたい。

【委員】

タクシーについてであるが、都内では2年ほど前であろうか。
初乗りワンコイン以下で乗ることができるというサービスが展開されていると承知しているが、先程、資料3の(4)のほうで、アンケート調査の結果でもお話しされていたとおり、ワンコインでも利用してみたいというサービスの中に、「外出」に関する要望が非常に多く出ている。そして、このアンケート調査はワンコインでという条件が付された上での結果である。

例えば富里市でも500円でタクシーを呼んで、市役所まで行ってみようというような、高齢者等が気軽に外出できるタクシー制度について、何か取り組む予定はないか。

【委員】

都内では初乗り410円ということを実施し、約1年半経過しているところである。千葉県においても私どもはA地区という区域で運行しているが、消費税の改定に伴い、初乗り運賃の見直しを考えている。タクシー事業者としては、A地区の中の事業者で7割以上の事業者から、そのような要望が出なければ運賃について協議を申し出ることができない。仮に7割以上の要望が出れば、タクシー協会を通じて協議をすることとなっているが、初乗り運賃については、千葉県内のタクシー業界において、協議は進められている。初乗り運賃500円については一つ案としてこちらとしても受け止めて、今後の協議に生かしていきたい。

その点進捗があれば、何かしらの形でご報告させていただこうかとは思っている。

【会長】

委員に申し上げるが、あくまで、本議題に沿った形での質問にしていきたい。またその他という部分も次第の中で取り上げているので、その部分でご質問いただければと考える。

【委員】

承知した。

6. その他

【事務局】

以下のとおり報告及びお知らせ

①富里バスターミナル駐車場の有料化について【事務局より説明】

【委員】

乗務員からいくつか質問が出ているのであるが、押しボタン方式とすると、制度を承知している人はバス利用でなくても、バス利用のボタンを押す形を採るのではないか。自己申告制とした理由は。

【事務局】

高速バス運行事業者様とも協議をし、市としても様々な区別の方法がありそれについても説明している。例えば、降車時に駐車券に乗務員から印鑑を押してもらうなど様々な方法が考えられたが、事務手続の増加やコストの面で、最適な制度が自己申告制であるという結論に至った。

②地域公共交通会議の委員の公募について【事務局より説明】

意見等なし

【委員】

千葉運輸支局からのお知らせである。

地方版図柄入りナンバープレートについて御説明させていただきたい。

昨年10月1日から地方版図柄入りナンバープレートの交付が始まっており、千葉県内では柏、成田の2つのナンバープレートが対象となるが、富里市では成田ナンバーが対象地域となっていることから、この機会に図柄ナンバーをつけていただいて、地元の魅力発信にご尽力いただければと考えている。なお、1,000円以上の寄附をいただくと、フルカラーのナンバープレートにすることができ、寄附金については、この公共交通施策や観光施策等の地域振興に充てられることから、地域の皆様に情報発信をしていただければと思う。

【委員】

交付手数料はいくら掛かるのか。

【委員】

私の承知する限り、同様のナンバーの付け替えだと4,000円と承知している。そこに1,000円以上の寄附を上乗せすることでフルカラーとなる。寄附が無ければ、モノトーンとなる。

【委員】

デマンド交通の運行受託者からご報告させていただく。

3月1日に株式会社千葉交タクシーと経営統合があり、会社名が新たに京成タクシー成田という名称になった。現行のデマンド交通に係る運行業務は引き続き当社営業所の方で人員も変わりなく、乗務員もそのままであるので、今後とも御支援・御協力くださるようお願いしたい。

【意見等なし】

【委員】

私事であるが軽便鉄道の会の会長をやっており、2月から6月にかけて、千葉中央博物館において企画展を実施するので、都合の良い方は是非ご来場をお待ちしている。65歳以上は無料である。

ジオラマ等を展示しているので是非御来場をいただきたい。

【事務局】

先程議題の中で委員より御質問のあった件について担当より説明する。

【事務局】

議題(2)で委員より御質問いただいた、要支援・要介護者49名の内訳について、お答えする。

要支援1が9名、要支援2が12名、要介護1が9名、要介護2が13名、要介護3が3名、要介護4が2名、要介護5が1名で、合計49名である。

5. 閉会

以上